

公益社団法人日本美術教育連合主催 造形・美術教育力養成講座 第6期のお知らせ

「越境し、拡張する美術—美術／美術教育へのアクセシビリティを再考する」

全ての人々が「不自由さ」を共有している今、美術教育やアートへのアクセスに関する問題がテーマです。

1. 参加方法等

(1) 「こくちーずプロ」を用いた事前申込制です（詳細は日本美術教育連合HP）。

(2) 対象：連合会員、幼保・小・中・高・大学教員、学生、院生、美術館関係者、画塾経営者、障害者支援関係者及び一般等

(3) 参加費 1回の講座あたり500円（会員・学生・院生）または1,000円（一般）

2. 講座概要 ※1講座1コマ（90分×1コマ：講義）、Zoomによるテレビ会議です。

(1) 第1回講座 2020年9月26日（土）13：30～15：00

① 「アートへのアクセシビリティ再考—#おうちでポーラ美術館の取り組みから」：ポーラ美術館は直接美術館へ足を運ぶことが困難な状況下で「アート体験を止めない場」として機能し続けています。講座では取り組みの紹介及びコンテンツ開発の背景にある思想についてオンライン配信を担当した同館学芸員にご講話いただきます。講師：ポーラ美術館学芸員 東海林 洋

② 申し込みアドレス 募集期間9月1日（火）9：00～9月24日（木）20：00

<https://www.kokuchpro.com/event/4108cc7e79bf3c2468221f44eecacf56/>

上記にある下記ボタンをクリックすると申し込み頁に移動します。



2020/09/26 (土)
13:30 - 15:00 JST
📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット

会員（学生・大学院生・一般）	¥500
非会員（学生・大学院生）	¥500
非会員（一般）	¥1,000

販売期限：2020/09/24 20:00:00
※コンビニ / ATM でのお支払いは、2020/09/23 で締め切られます。

チケットを申し込む

🔔 売切・販売終了前に通知

(2) 第2回講座 2020年11月21日（土）13：30～15：00

① 「新しい授業参加を創造するデザイン」：全国の美術教育関係者が取り組んでいるリモート授業やオンライン学習。学習者を主体的に参加させる際に重要となるのが情報伝達のデザインです。今後対面とリモートの混合授業が求められる方向性を想定し、情報をいかに効果的に伝達するかそのノウハウをグループ討議やチャット等も活用し参加者とともに探っていきます。講師：大同大学 桐山岳寛

(3) 第3回講座 2021年1月9日（土）13：30～15：00

① 「ロボットやWebを用いた新しい鑑賞教育のデザイン」：OriHimeなどの分身ロボットを用いた活動を通して、新しい社会参加をデザインするオリイ研究所の鈴木メイザ氏。国立美術館5館共同でデジタル教材を開発した責任者の東京国立近代美術館の一條彰子氏。お二人の対談を通して、新しい鑑賞教育について考えます。講師：株式会社オリイ研究所 鈴木メイザ、東京国立近代美術館学芸員 一條彰子

(4) 第4回講座 2021年1月23日（土）13：30～15：00

① 内容：「障害があるアーティストの表現の広がり」と自立に向けての可能性」講師は芸術活動にたずさわる障害者の支援ならびに作品の発掘、調査、公開をされています。日本各地を回り、福祉施設、病院、個人宅で埋もれている作品を発掘するとともに、アート作品等の展示会の企画・開催及びアート作品等の商品化ならびに店舗展開等の事業を手掛けています。様々な芸術活動にたずさわる障害のある人及びその芸術作品の魅力そして自立に向けての活動、ネットワーク化の促進についてお話をお聞きします。講師：Art InterMix 代表 画家 中津川浩章